

わが職場

当社は一九七七年の創業以来、火力・原子力発電所における計装設備の据付工事とメンテナンスを中心に、安全・安定・安心な電力供給をサポートするという社会的使命を担い、計装技術とともに歩んでまいりました。

一九八五年には電子機器事業部（現在のFA開発部）を設立し、エネルギー、環境、生産等の工場設備における制御装置の設計・製作などを始め、これまでの施工・メンテナンスを含めた、お客様のご要望に総合的に応え、できる体制を整えることができました。

近年では環境負荷に配慮し、より付加価値を高めたLED応用製品の開発・販売や、発電インフラとして急速に存在感を高めている産業用太陽光発電システムのシステムインテグレーションも手

掛けるなど、これまでの技術領域をベースとしながら、一方では時代の要求に応えるための、柔軟な事業展開を推進しています。

さて、当社の安全衛生活動は、全社安全衛生管理計画を基本に、各部門毎の特性に応じた安全衛生管理施策を実施することにより、作業災害、交通災害の防止と健康管理の充実を図っています。

代表的な活動としては、リスクアセスメント活動、KY活動、ヒヤリハット活動、部門間の安全相互診断、テレマテイクス（自動車用情報通信サービス）による運行状況の把握と運転指導、産業医による健康診断有所見者指導、メンタルヘルス対策などが挙げられ、実施結果については、安全衛生委員会開催時に報告がなされ、次月・次年度計画などに反映されます。

当社には香川、愛媛、徳島に合わせて4個所の事業所があり、安全・品

質上の問題点については毎月の会議で報告され、改善策が検討されます。

また、本社には複数の業種が同居しているため、昨年度より合同の職場安全衛生委員会を組織し、安全情報等を部門間で共有することでリスクの見える化を促進し、効果的な安全管理について成果を上げようとしています。

安全は経営の根幹であり、社員が明るく健康な生活を送るための基盤であるため「自分の安全は自分で守る」を基本とする心構えが重要となります。今後、社員一人ひとりの安全に対する意識を更に高めるために、災害防止活動を全社一体となって遂行し、危険を危険と感じる感受性を研ぎ澄ましたいと考えています。

新光電装株式会社

経営管理室

室長 岸本 英二